

特別展
国立民族学博物館創設40周年記念
日本文化人類学会50周年記念
「イメージの力」
国立民族学博物館コレクションにみる
人間の作り出したイメージのはたらきや受け
とめられ方に、人類共通の普遍性はあるので
しょうか。観覧者とともにさぐります。
会期 12月9日(火)まで
会場 特別展示館

関連イベント
トークイベント
会場となる「イメージの力」展の空気を取り
込んで、即興で小説を生み出します。
日時 11月29日(土)13時30分～15時
ゲスト いししいしんじ(小説家)
聞き手 山中由里子(本館准教授)
会場 特別展示館
※申込不要、先着順、要特別展示観覧券

みんなくゼミナール

時間 13時30分～15時(13時開場)
会場 本館講堂
定員 450名(当日先着順)
参加費 無料(展示をご覧になる方は観覧料が必要です)
第438回 11月15日(土)
【特別展開連】美術館からみたみんなくコレクション
講師 長屋光枝(国立新美術館 主任研究員)
 山田由佳子(国立新美術館 研究員)
 齋藤玲子(本館 助教)
司会 上羽陽子(本館 准教授)



(国)にて展
「カワ・トゥギトウ」展
の椅子「カワ・トゥギトウ」展にて
つきの椅子「カワ・トゥギトウ」展にて
つきの椅子「カワ・トゥギトウ」展にて
つきの椅子「カワ・トゥギトウ」展にて
つきの椅子「カワ・トゥギトウ」展にて
つきの椅子「カワ・トゥギトウ」展にて
つきの椅子「カワ・トゥギトウ」展にて

みんなくウィークエンド・サロン
研究者と話をしよう
会場 本館ナヒひろば
時間 14時30分～15時30分
※申込不要、参加無料(要展示観覧券)
本館の研究者が来館された皆様の前に登場します！
「研究について」「調査している地域(国)の最新情報」「展示資料について」など、話題や内容は実に多彩。
11月2日(日)
11月23日(日)・祝
11月30日(日)
11月30日(日)
11月30日(日)
11月30日(日)
11月30日(日)
11月30日(日)
11月30日(日)
11月30日(日)
11月30日(日)
11月30日(日)

講師 長屋光枝(国立新美術館 主任研究員)
 吉田憲司(本館 教授)
本展実行委員ほか3名
対象 22日(土)一般(中学生以上)、
23日(日)・祝)小学4年生～6年生
※要事前申込、先着順、
参加費500円(別途要特別展示観覧券)

ギャラリートーク
日程 11月6日(木)、10日(月)、13日(木)、
17日(日)、20日(木)
時間 17時～11時30分
※申込不要、参加無料(要特別展示観覧券)
みんなくナレッジキャピタル
「イメージの力」をさぐる
大阪・梅田のナレッジキャピタルで特別展と
連動した連続講座を開催します。(全6回)

時間 19時～20時30分
会場 グランフロント大阪北館1F
ナレッジキャピタル The Lab Cafe Lab
※要事前申込 参加費500円(ドリンク代)、定員各回50名
主催 一般社団法人ナレッジキャピタル
国立民族学博物館

11月12日(水)
講師 齋藤玲子(本館 助教)
話題 イメージと商品化
11月26日(水)
講師 上羽陽子(本館 准教授)
話題 色と光が放つイメージ
お申込み・お問い合わせ
一般財団法人ナレッジキャピタル
06・63372・6530

刊行物紹介

■岸上伸啓 著
『極北の風景 グリーンランド
写真帳—ヌーク編—』
風土デザイン研究所 1,500円(税別)

北大西洋に浮かぶ世界最大の島、グリーンランドの総人口は約5万7千人でそのうちの9割がイヌイットです。現代のグリーンランドの様子を、首都ヌークで2008年と2013年に撮影した写真と解説で紹介しています。

■広瀬浩二郎編 著
『世界をさわる
——新たな身体知の探究』
文理閣 2,000円(税別)

サイエンス、アート、コミュニケーションの三つの切り口から「さわる」世界に多角的にアプローチします。天文学・古生物学・赤ちゃんな学の研究者、武道家、彫刻家の協力を得て、ユニークな触文化論を展開しています。

関連イベント
ギャラリートーク
日程 11月6日(木)、10日(月)、18日(火)
時間 14時～14時30分
講師 岸上伸啓(本館 教授)
※11月6日(木)は13時～13時30分
申込不要、参加無料(要展示観覧券)

公開フォーラム
「文化遺産の人類学」
文化遺産を支えるさまざまな動きを見つめてきた文化人類学者が、文化遺産の知られざる一面を報告します。
日時 11月8日(土)10時15分～16時50分(開場10時)
会場 本館第5セミナー室(定員75名)
※参加無料、要事前申込
お問い合わせ・お申し込み
heritage@dc.minpaku.ac.jp

みんなくワールドシネマ
「海と大陸」
アフリカの不法移民をかくまうイタリアの島の一家の苦闘を通して、移民問題を考えます。
日時 11月9日(日)13時30分～16時(開場13時)
会場 本館講堂(定員450名)
※申込不要、先着順、参加無料(要展示観覧券)
※当日11時30分から展示場ミレクチャーあり。

北大阪ミュージアムメッセ
北大阪7市3町の美術館、博物館が2日間みんなくにて大集結し、楽器演奏によるコンサート、地域の民俗芸能上演などを実施します。
日時 11月15日(土)、16日(日)
会場 本館エントランスホール及び特別展示館休憩所(BF)
※申込不要、参加無料
主催 北大阪ミュージアムネットワーク

カムイノミ神への折り
本館に収蔵されているアイヌの標本資料への感謝と安全を願い、北海道アイヌ協会の協力

国立民族学博物館友の会 電話 06-6877-8893 (9時～17時、土日祝を除く) FAX 06-6878-3716
http://www.senri-f.or.jp/ e-mail minpakutomo@senri-f.or.jp

友の会

友の会講演会(大阪)
会場 本館第5セミナー室
定員 96名(当日先着順、会員証提示)
第437回 12月6日(土)14時～15時
ナラ林文化を再考する
講師 佐々木史郎(本館 教授)
大陸アジアの照葉樹林帯に、日本文化の起源を求めた照葉樹林文化論。この学説の一翼を担った佐々木高明元館長は、南北双方からルートを探る必要性を併せて指摘し、照葉樹林文化に对应的のものとして、北方系の文化の流れに「ナラ林文化」という仮説の枠組みを設定しました。本講演では、ナラ林文化論に託された課題を抽出し、生態環境や歴史の変遷をふまえつつ、「ナラ林文化」という文化領域設定の可能性を改めて問い直してみたいと思っています。
第438回 2015年1月10日(土)14時～15時
グローバル時代の「知的生産の技術」
——フォーラム型博物館の可能性
講師 久保正敏(本館 教授)
梅棹忠夫初代館長は、博物館を博物館と位置づけ、モノ、映像や音響資料の収集とそれらの情報化に力を注ぎました。また、利用者自身が情報を選択・再構築し、自ら「知的生産」を実践する場として、民博が活用されることを期待しました。グローバルな情報収集と利用が日常となった現代は、博物館における資料や情報の集積・利用や公開の手法において、多様な異文化への配慮が特に必要です。「フォーラム型」の情報集積と公開に新たな可能性を見出す、これからの「知的生産の技術」について考えます。
※いずれの講演会も終了後に講師をまじえ、1時間程度の懇談会をおこないます。
第85回民族学研修の旅
——カンボジア、東北タイの機織りの現場をめぐる
2015年2月1日(日)～2月9日(月)
訪問先…カンボジア、タイ東北部

をえて、カムイノミをおこないます。
日時 11月27日(木)10時30分～11時50分
会場 本館玄関前広場
※雨天の場合は、特別展示館休憩所(BF)にて開催、一般見学可能
公開講演会
「無形文化遺産 選ぶ視点 選ばれる現実」
ユネスコ無形文化遺産として和食が認定されるなど、いま注目されている無形文化遺産の過去・現在・未来について紹介します。
日時 11月4日(火)18時30分～20時40分
会場 日経ホール(東京、定員600名)
主催 日本経済新聞社
※要事前申込、参加無料
お問い合わせ先
研究協力係 06・6878・8209

みんなく創設40周年記念 カレシジニアター
「みんなく地球探究紀行」
10月からプログラムをさらに充実、参加しやすいスタイルで後期講座がスタートしました。
時間 13時～14時30分
会場 あへのハルカス近鉄本館「スペース9」
※要事前申込(申込締切は各回開催日の1週間前)、参加費各回10000円
主催 産経新聞社
特別協力 国立民族学博物館、千里文化財団
11月12日(水)
講師 西尾哲夫(本館 教授)
話題 イスラームの世界観
——アラビアンナイトから考える
11月19日(水)
講師 宇田川妙子(本館 准教授)
話題 地域社会になつくイタリアの食
11月26日(水)
講師 杉本良男(本館 教授)
話題 インド・サリーの世界
お申込み・お問い合わせ
ウエブ産経カレシジニアター係
06・66333・9087

※国立民族学博物館ミュージアム・ショップの記事は、表紙うらに移りました。